

22:14 さて時間になって、イエスは食卓に着かれ、使徒たちもイエスといっしょに席に着いた。

22:15 イエスは言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたといっしょに、この過越の食事をすることをどんなに望んでいたことか。

22:16 あなたがたに言いますが、過越が神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過越の食事をすることはありません。」

22:17 そしてイエスは、杯を取り、感謝をささげて後、言われた。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。

22:18 あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時までには、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」

22:19 それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行ないなさい。」

22:20 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。

22:21 しかし、見なさい。わたしを裏切る者の手が、わたしとともに食卓にあります。

22:22 人の子は、定められたとおりに去って行きます。しかし、人の子を裏切るような人間はのろわれます。」

22:23 そこで弟子たちは、そんなことをしようとしている者は、いったいこの中のだれな

のかと、互いに議論をし始めた。

十字架にかかって死ぬことを知っておられたイエス様でしたが、自分自身の恐怖や悲しみよりも、弟子たちのことを思っておられました。その思いには堅い決心があり、救いが成就するためにはもう後戻りはないというものでした。

イエス様は御自分の十字架が何であるのかを、前もって弟子たちに知らしめるために、このパンと杯を与えたのです。私たちも聖餐のたびごとにこのイエス様の思いに触れるものでありましょう。決して御思いを素通りするようなことのないようにしまししょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

